

A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

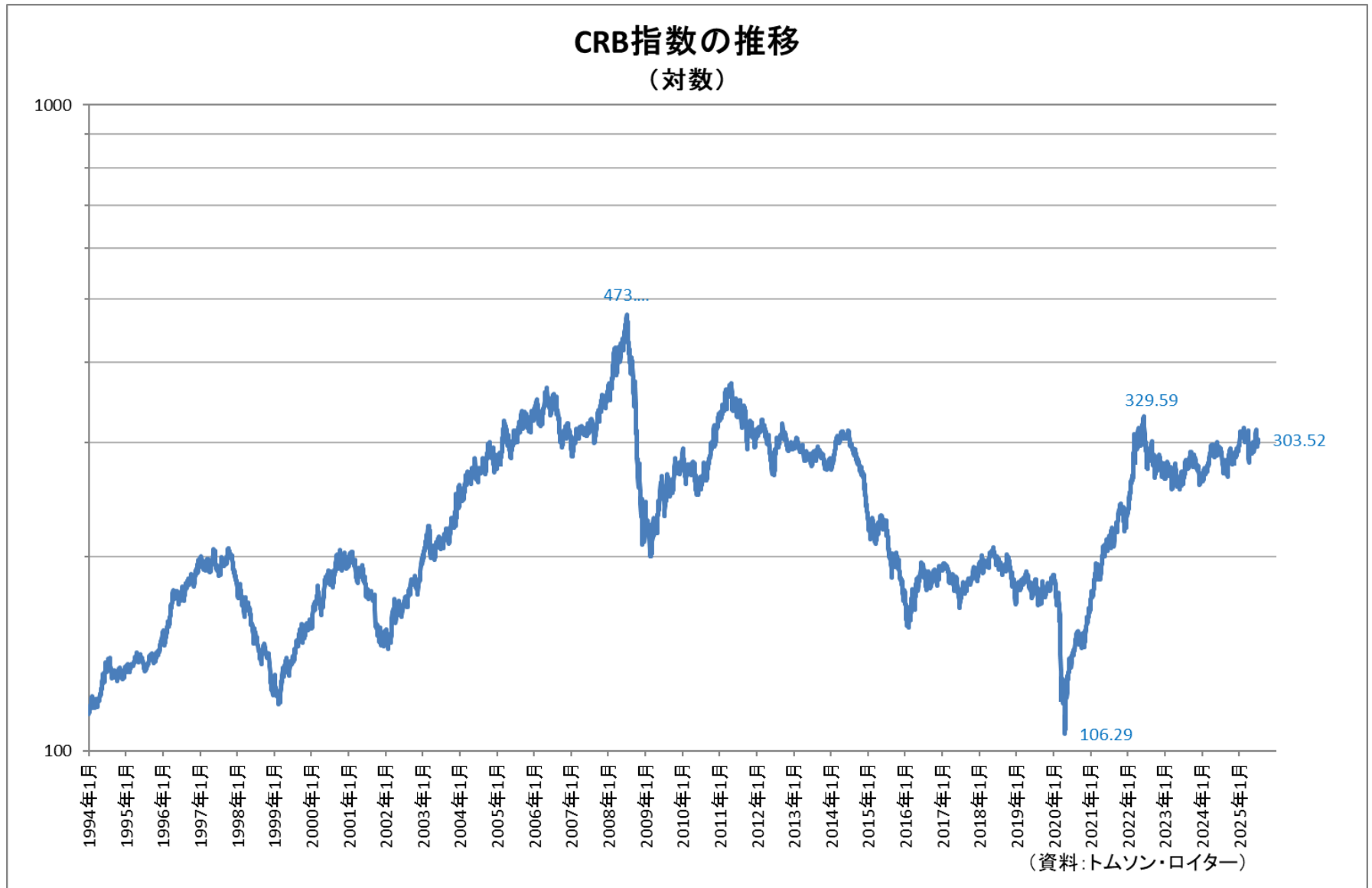
会員用

Weekly Market Monitor

---コモディティ・金利編---

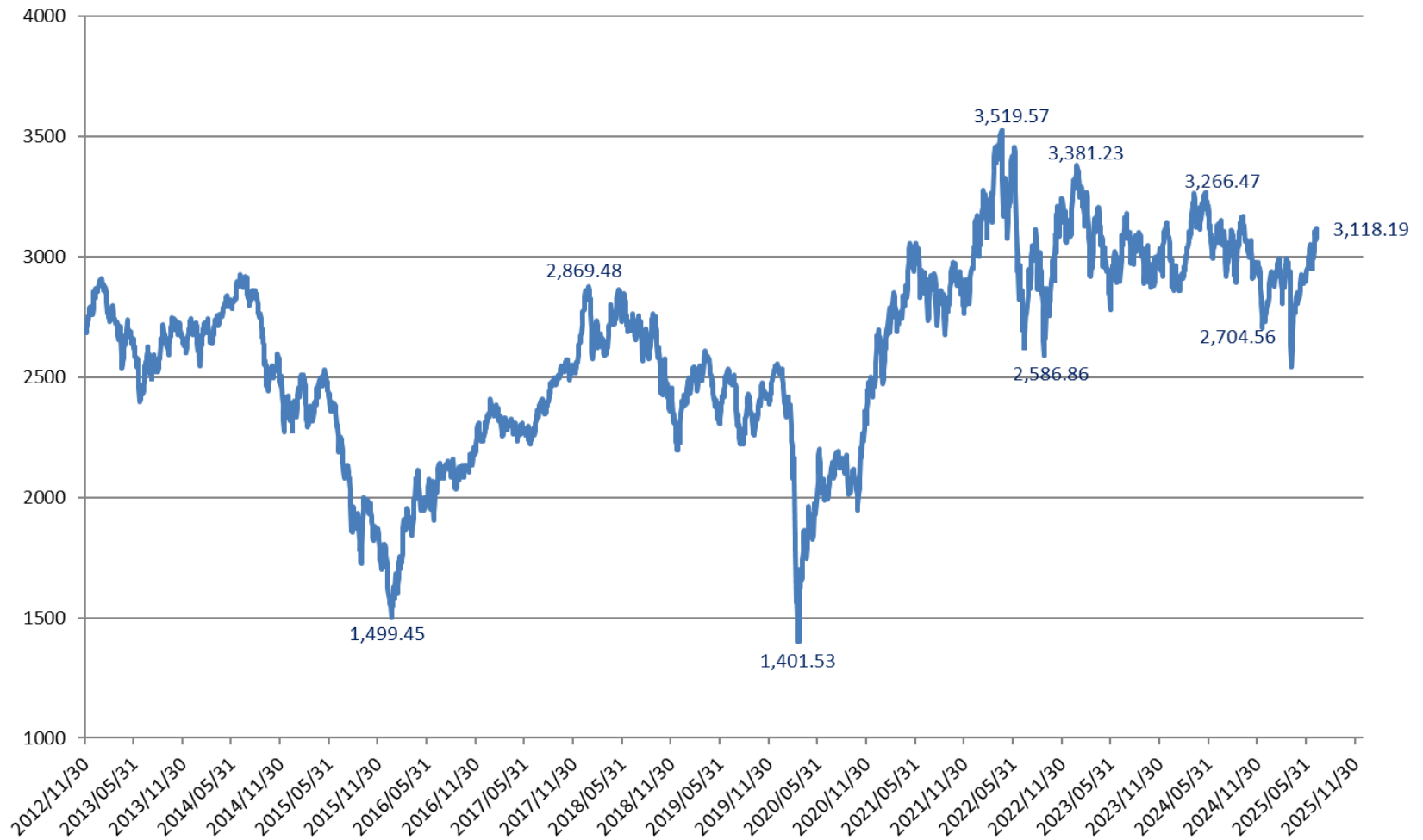
2025年7月11日データ迄収録

コモディティ指数は中東情勢収束でゾーン内



天然資源株は銅等の上昇で堅調

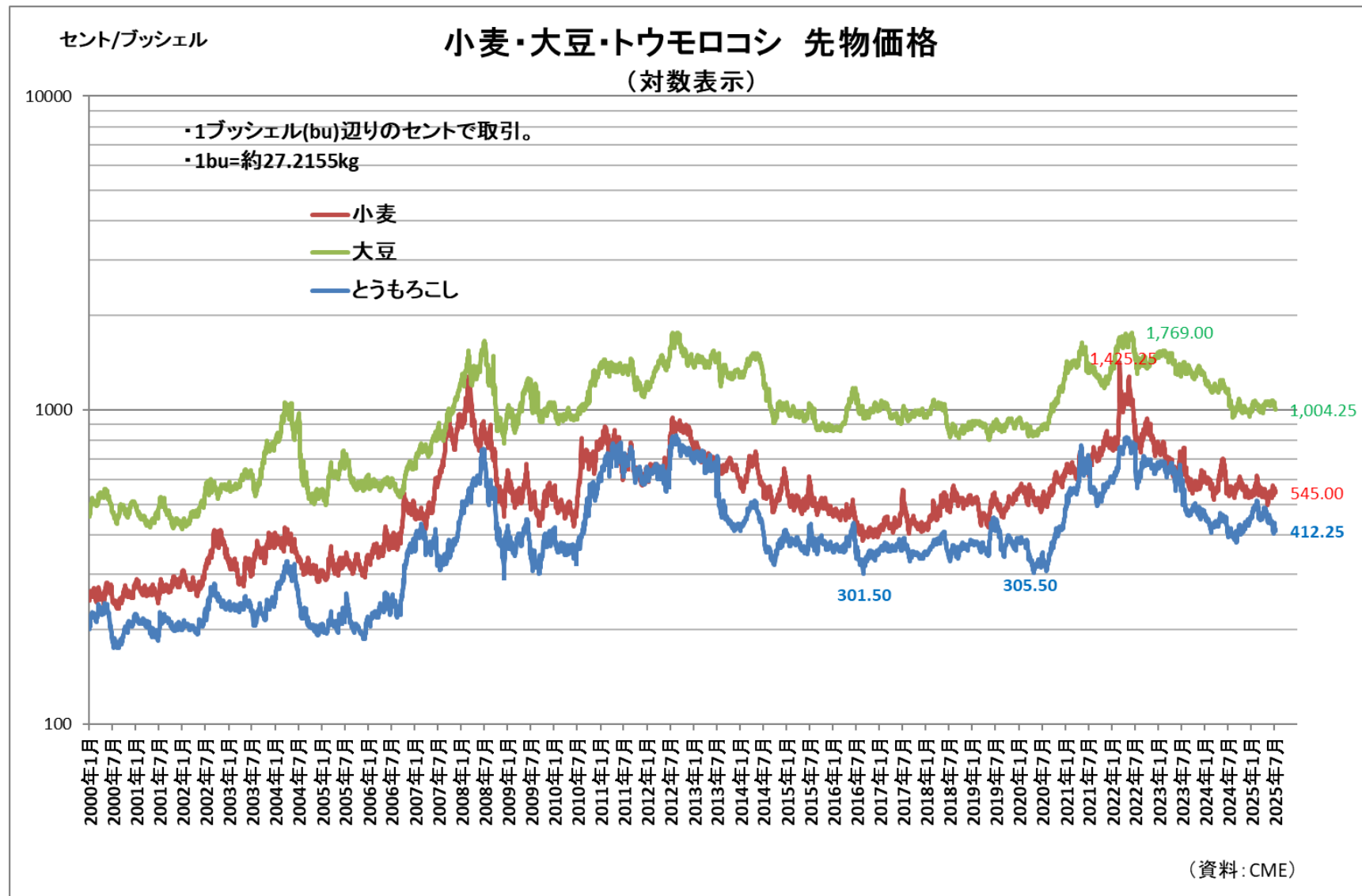
S&P天然資源株式インデックス



(資料:S&P)

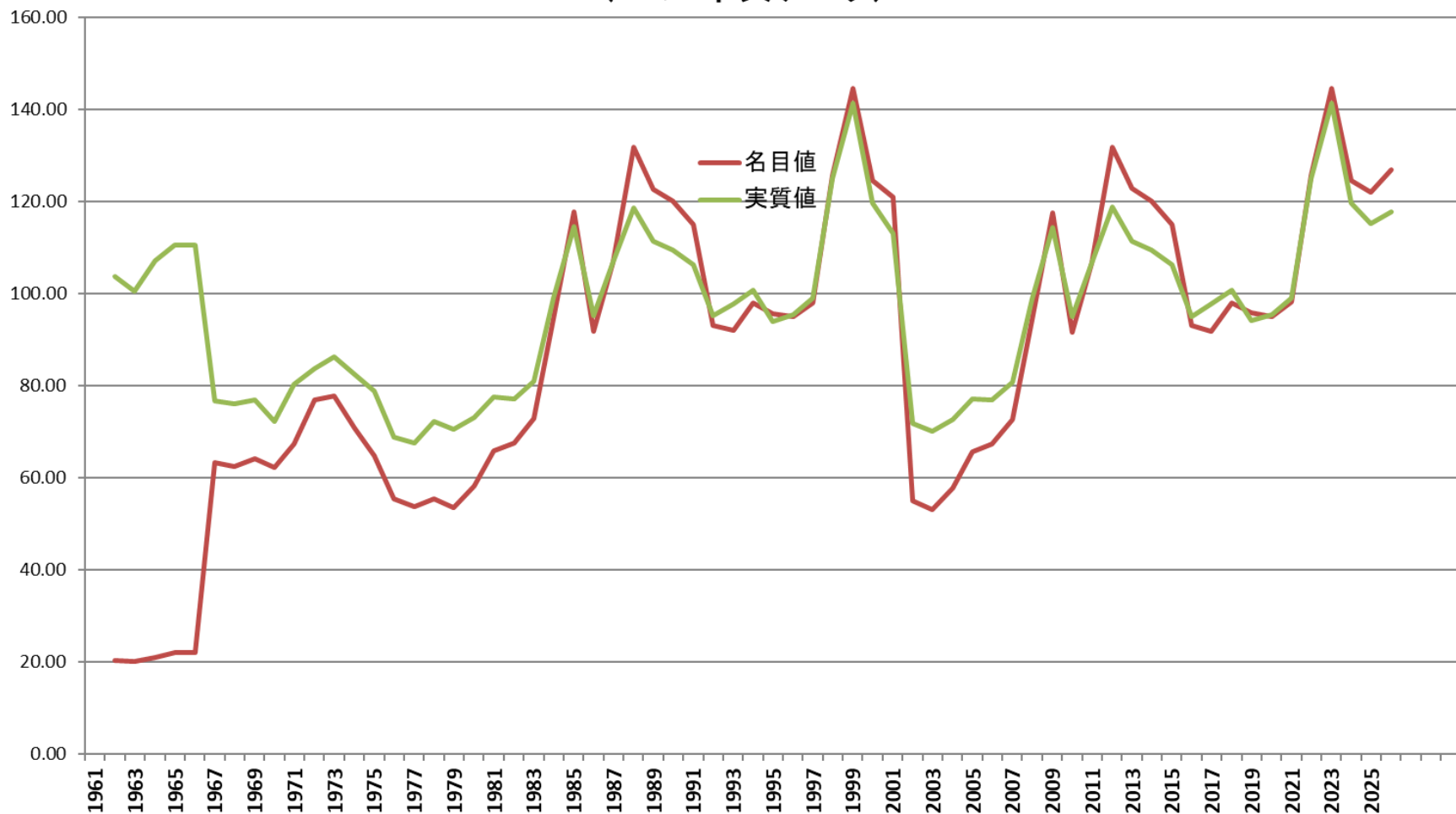
穀物価格は、供給増の見通しで価格も安定

---原油価格の更なる高騰なければ、穀物のバイオ燃料転用需要は拡大せず---



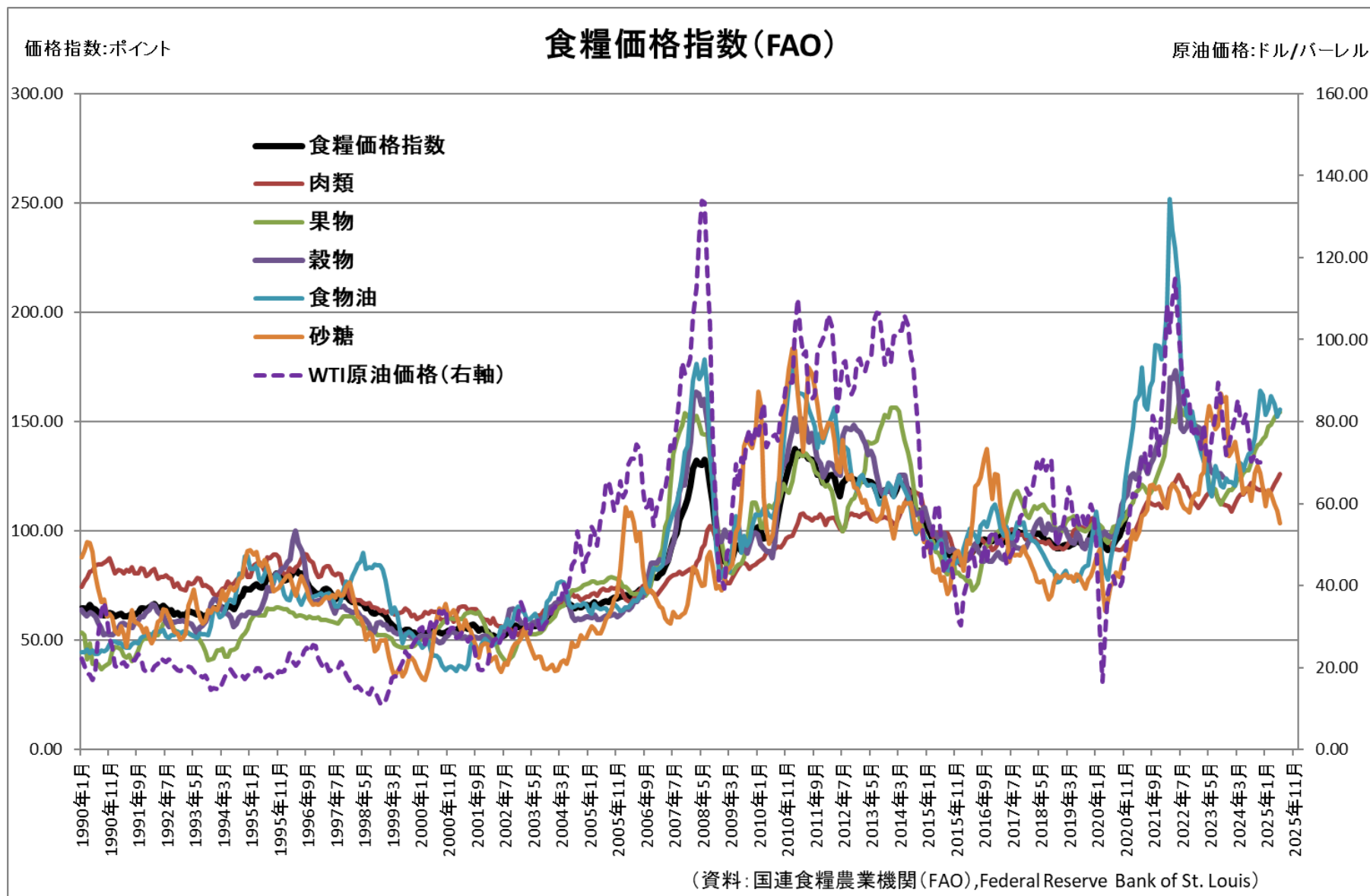
食糧価格は名目・実質共に歴史的 high から後退

食糧価格指数
(FAO: 年次データ)



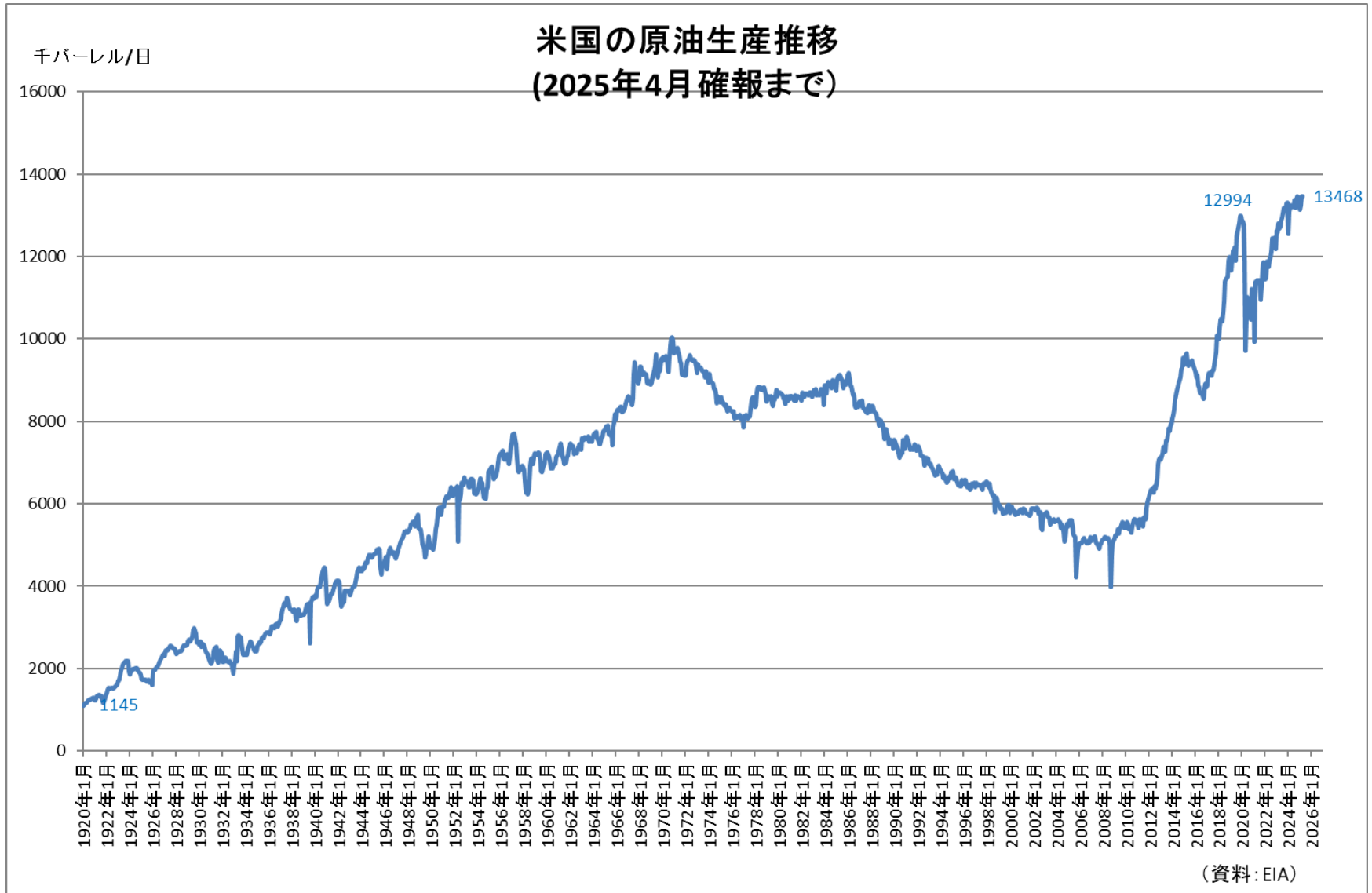
(資料: 国連食糧農業機関 (FAO))

食糧価格は高値から低下も長期では高目の水準を維持



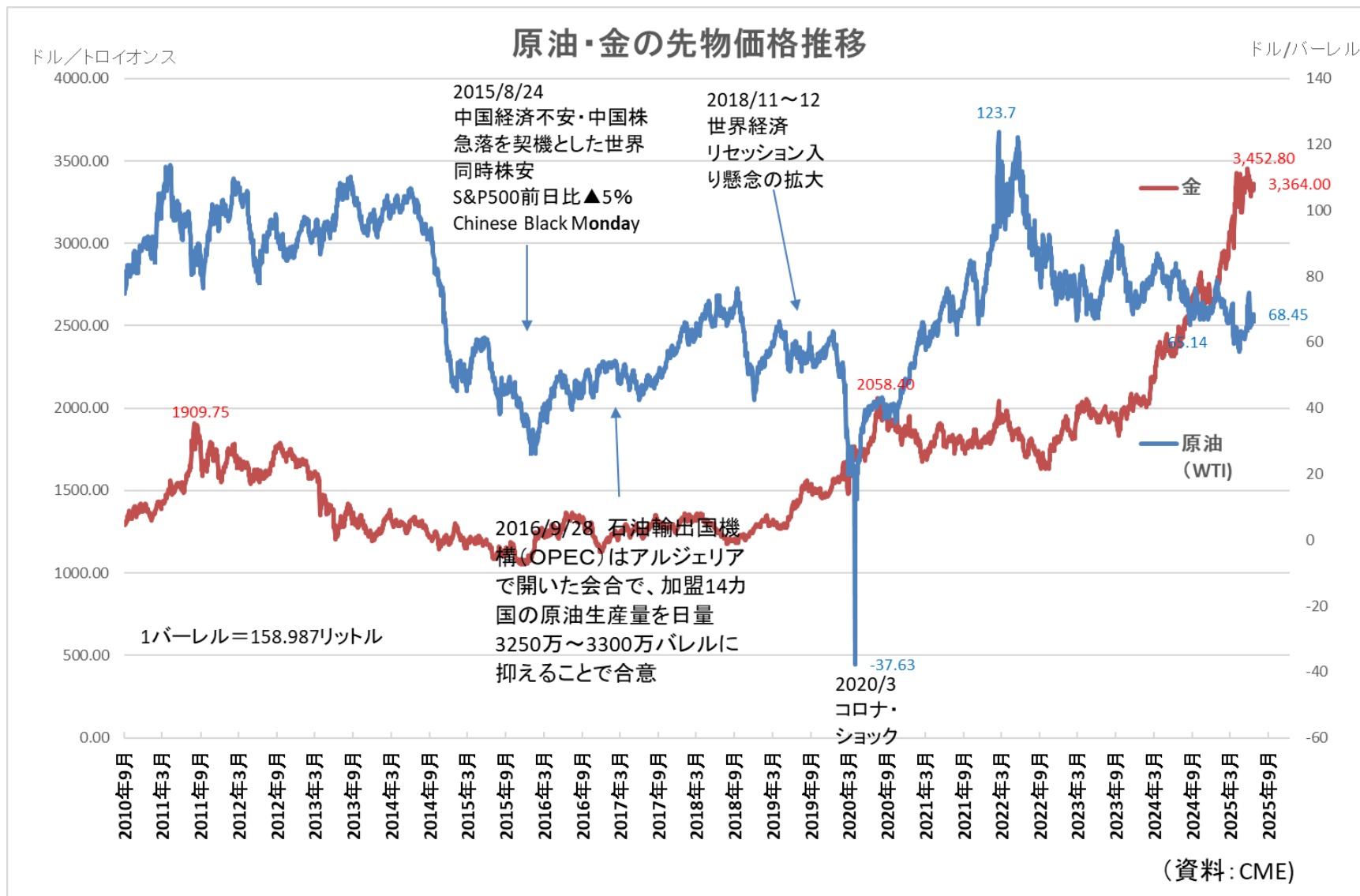
米国の原油生産は急増

---既存の低生産コストリグがフル稼働で更に供給拡大---



世界景気供給増を材料にWTIは低下バイアス

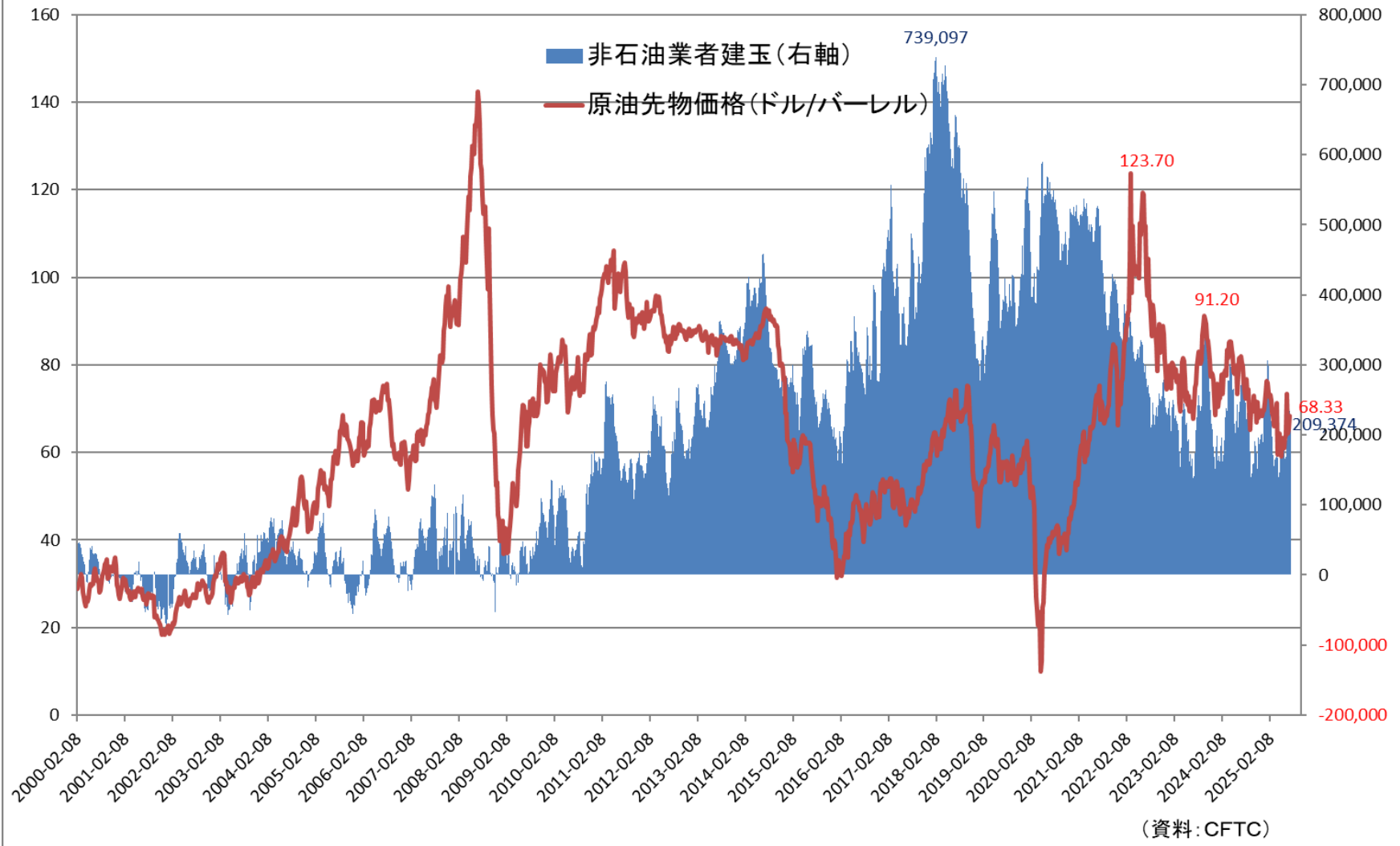
---中東の戦闘が短期で収束したため原油価格は60ドル台---



世界の投資家の原油先物ポジション

---関税引き上げ応酬で需要減退懸念拡大---

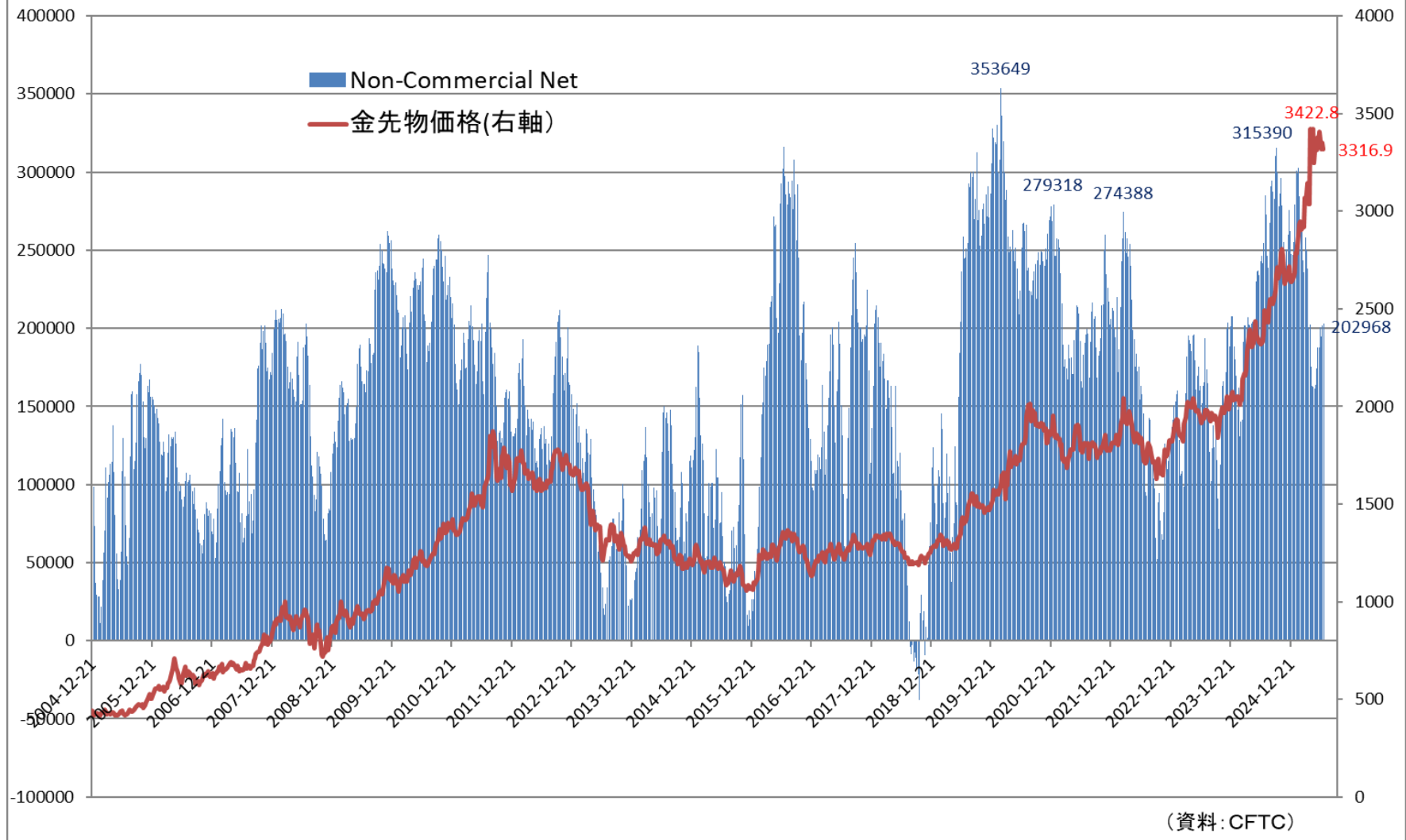
CFTC WTI原油投資家建玉ネット



世界の投資家の金先物ポジション

---金の買建ポジション高水準維持---

CFTC金投資家建玉ネット



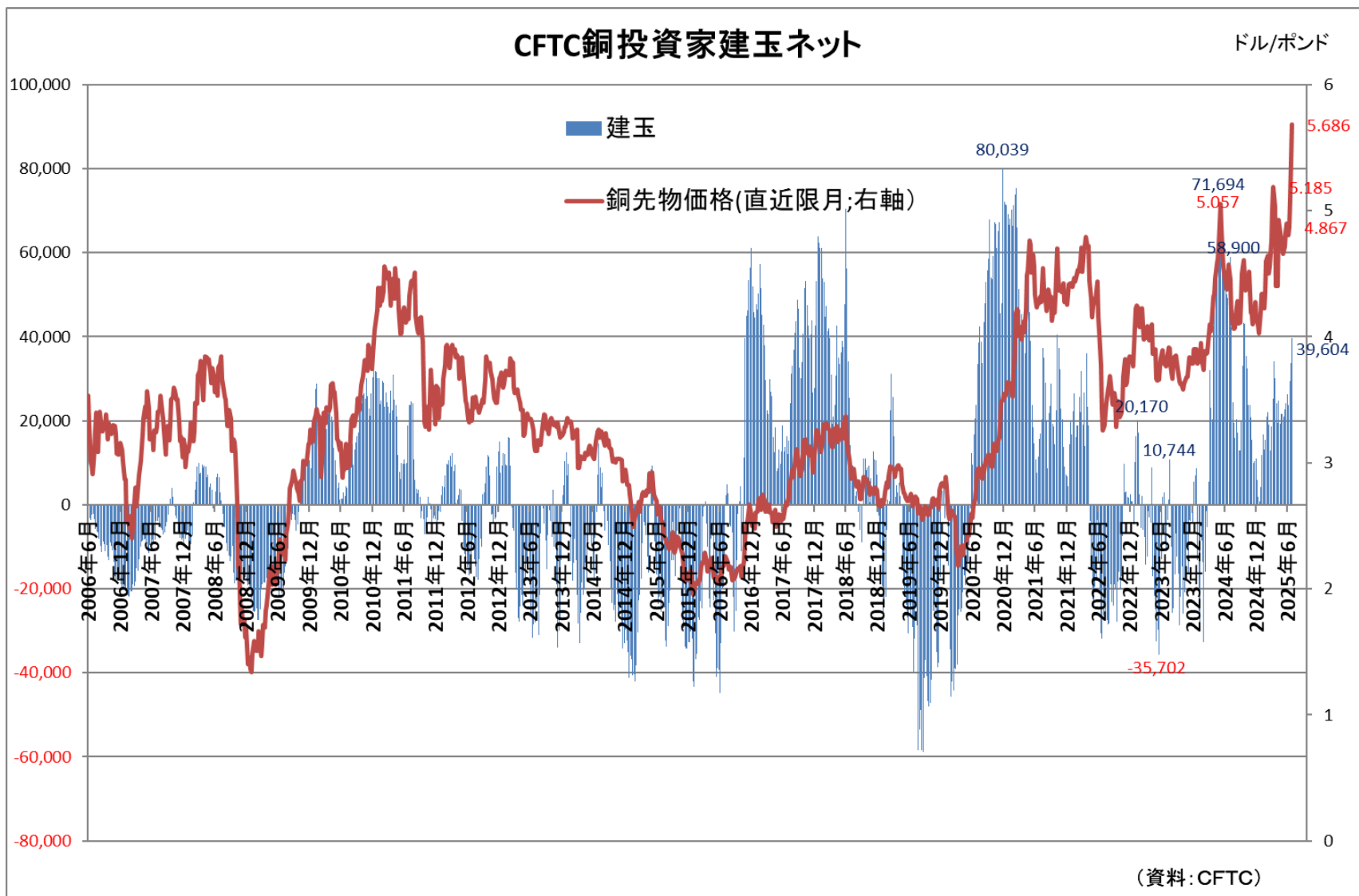
銅価格は供給力低下で上昇バイアス

---銅供給減から実需面で価格上昇---



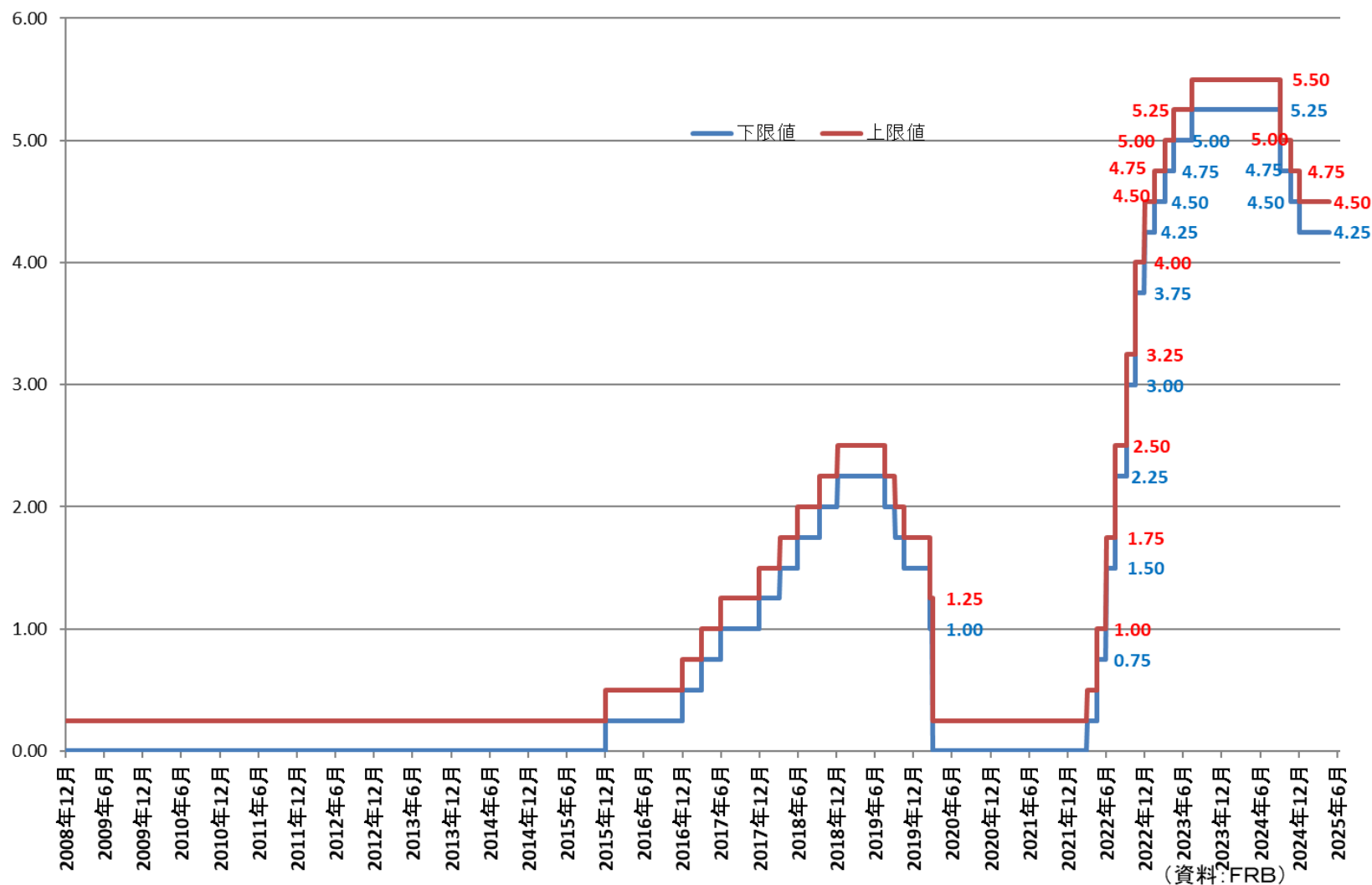
世界の投資家の銅先物ポジション

---買い建玉は大幅には伸びないが供給の鈍化で実需から価格堅調---



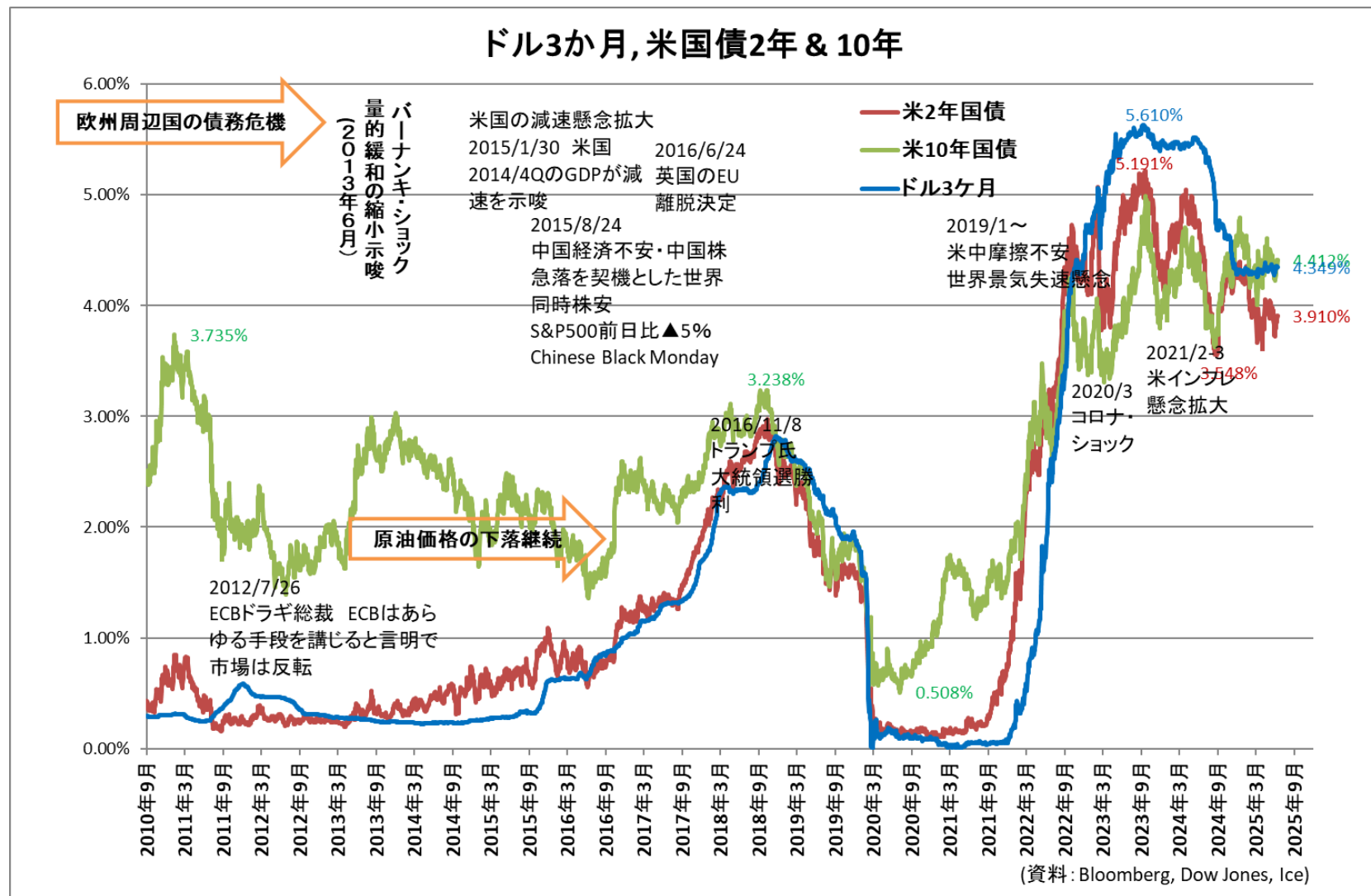
ドル政策金利動向

フェデラル・ファンド・ターゲット・レート



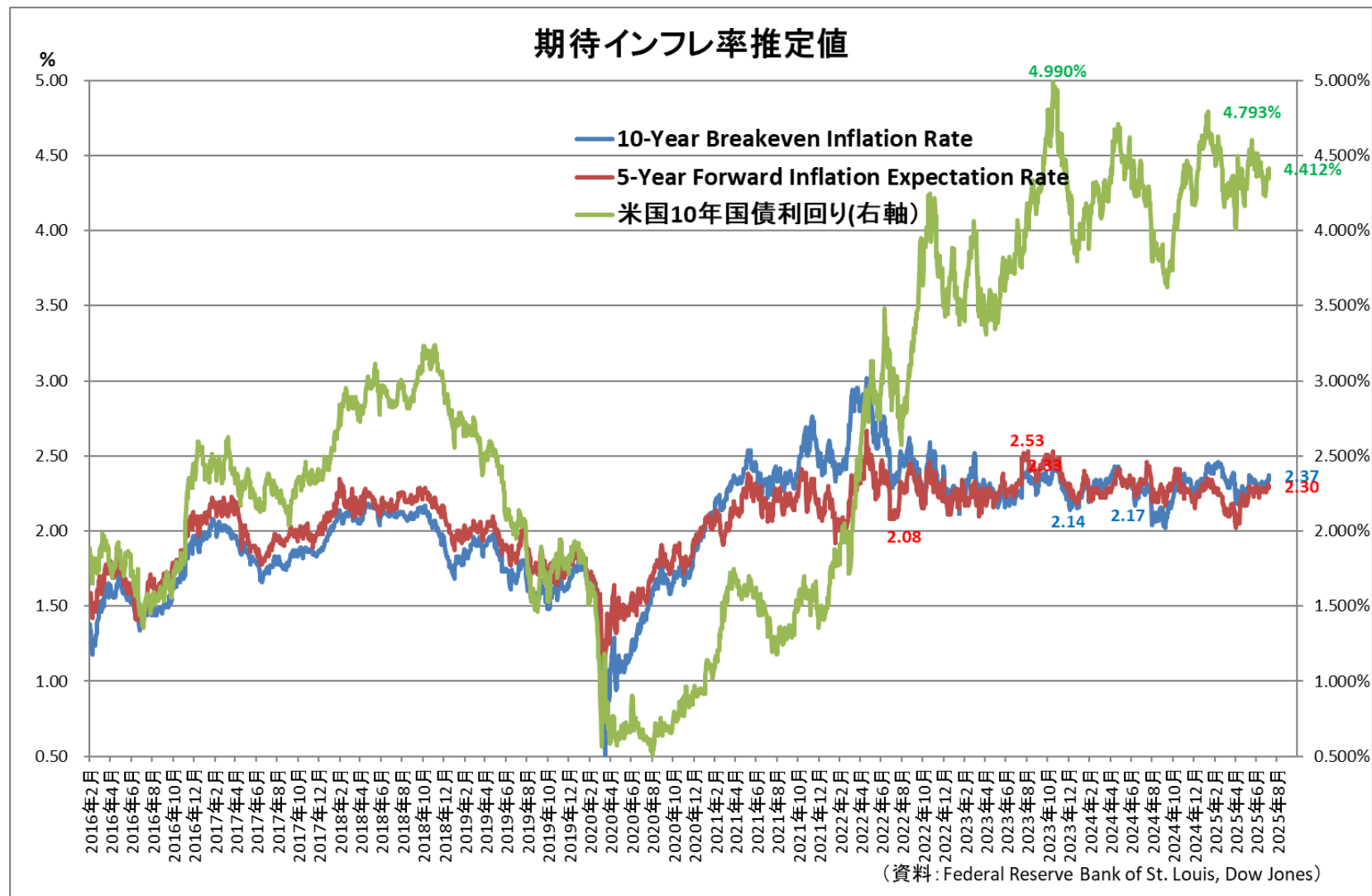
ドル金利動向

---景気鈍化懸念後退で3か月-10年、2-10年は順イールドに---

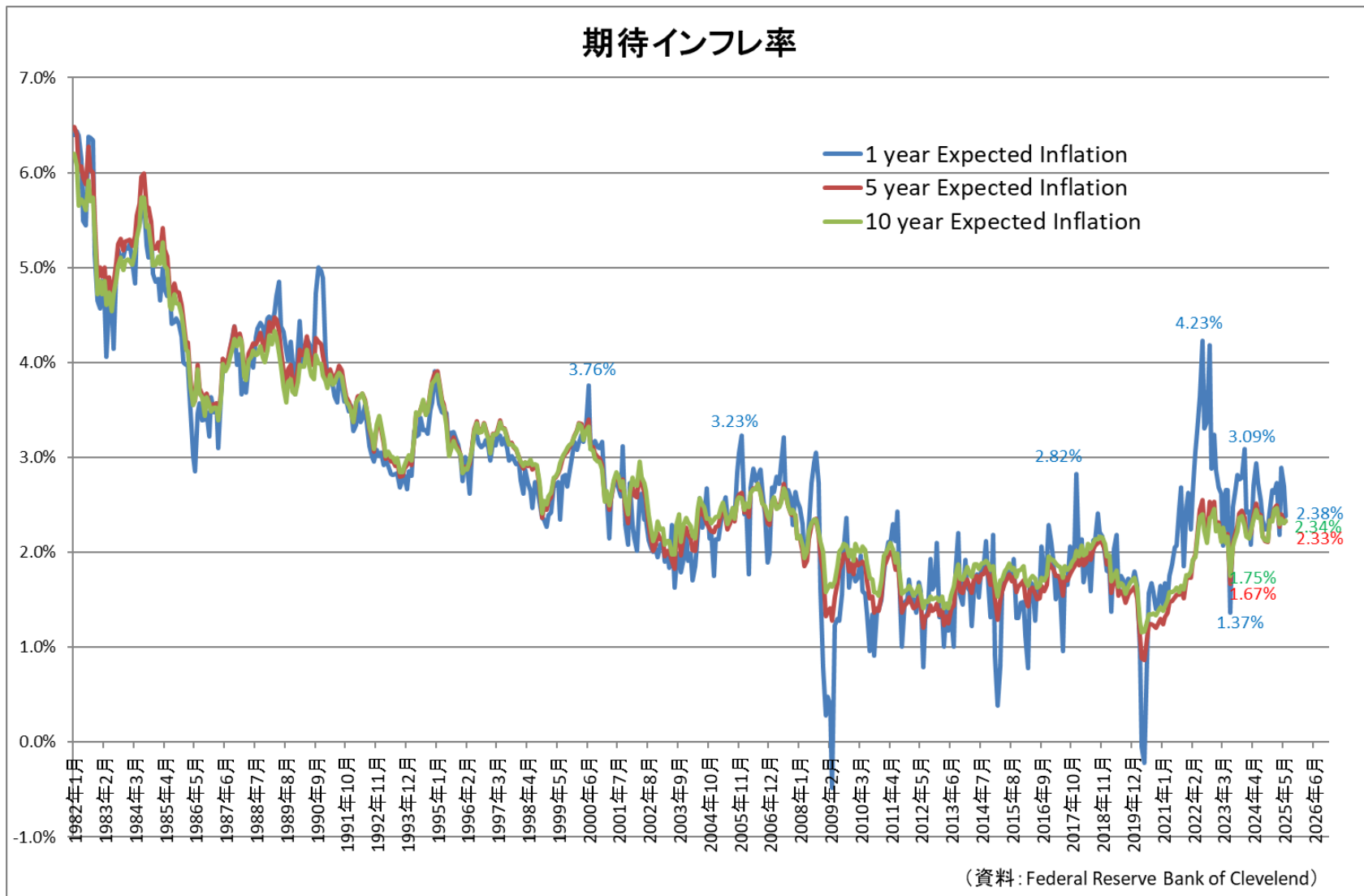


米国市場の期待インフレは安定推移

---米経済指標堅調で2.2-2.5%のレンジ内推移も低下バイアス---



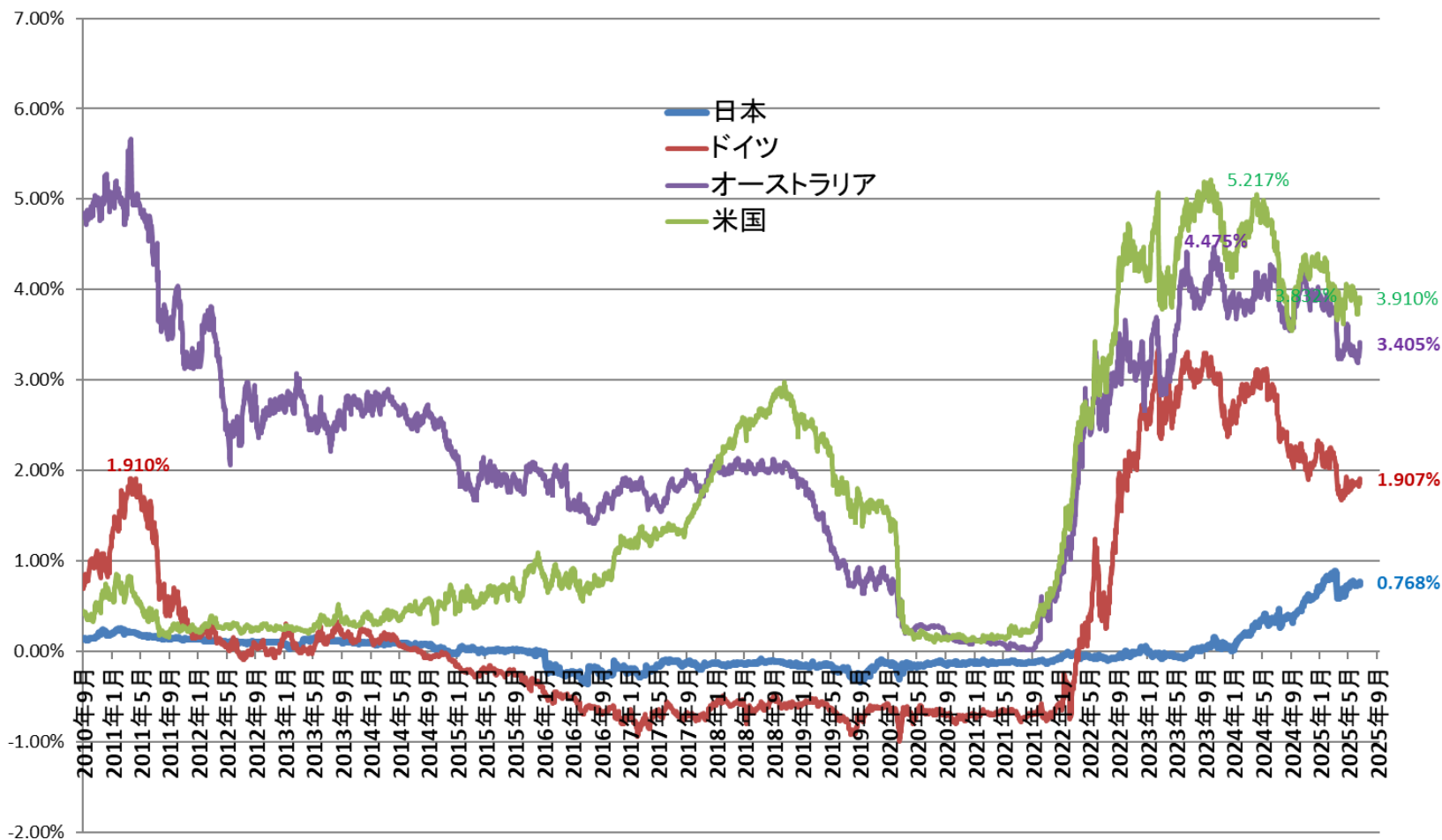
米国の期待インフレの上昇モメンタムは縮小 ---経済基礎要因を加えた期待インフレはレンジ内中央に---



金利動向

---中東の紛争も米金利上昇要因にならず---

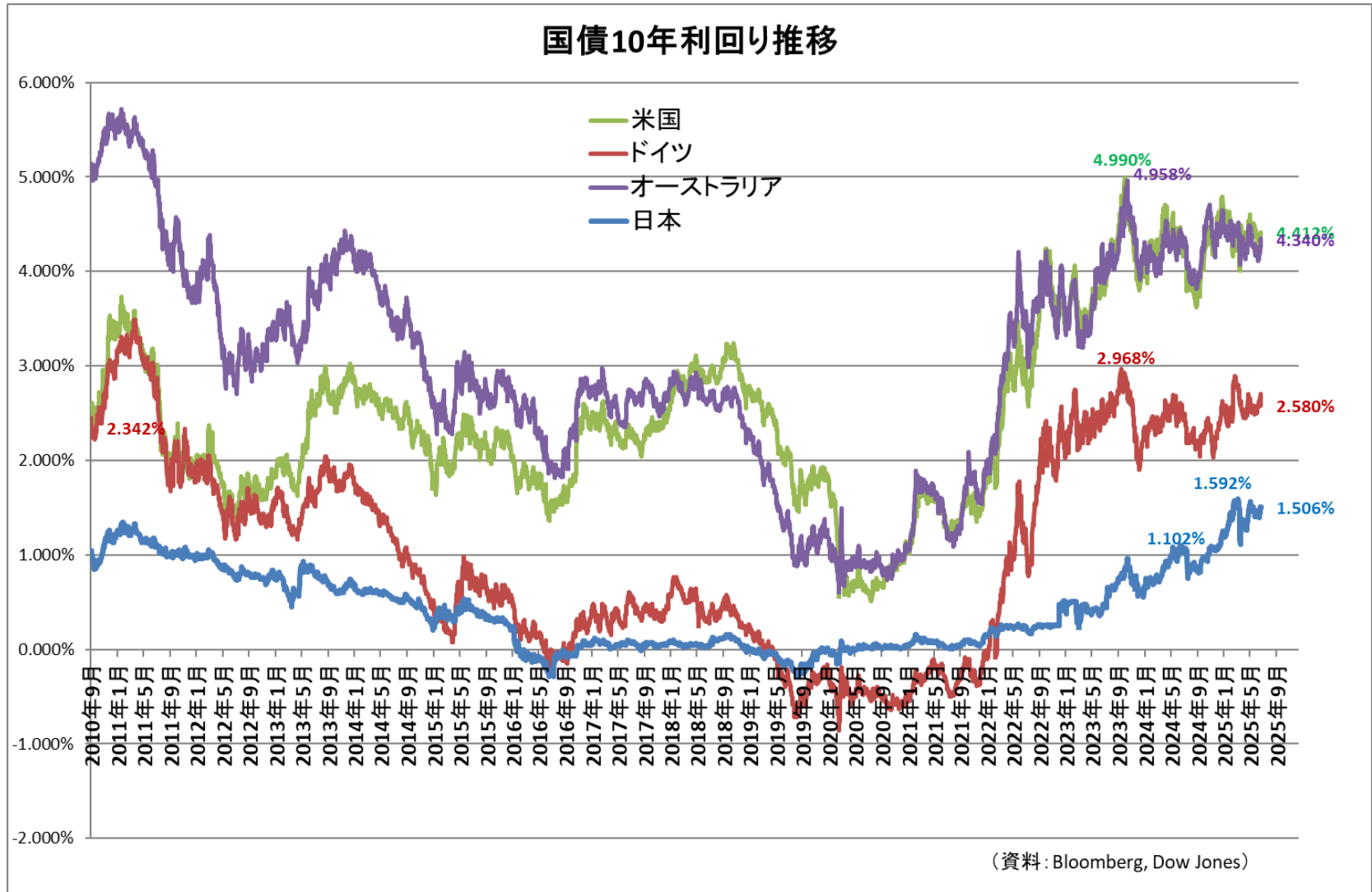
国債2年利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

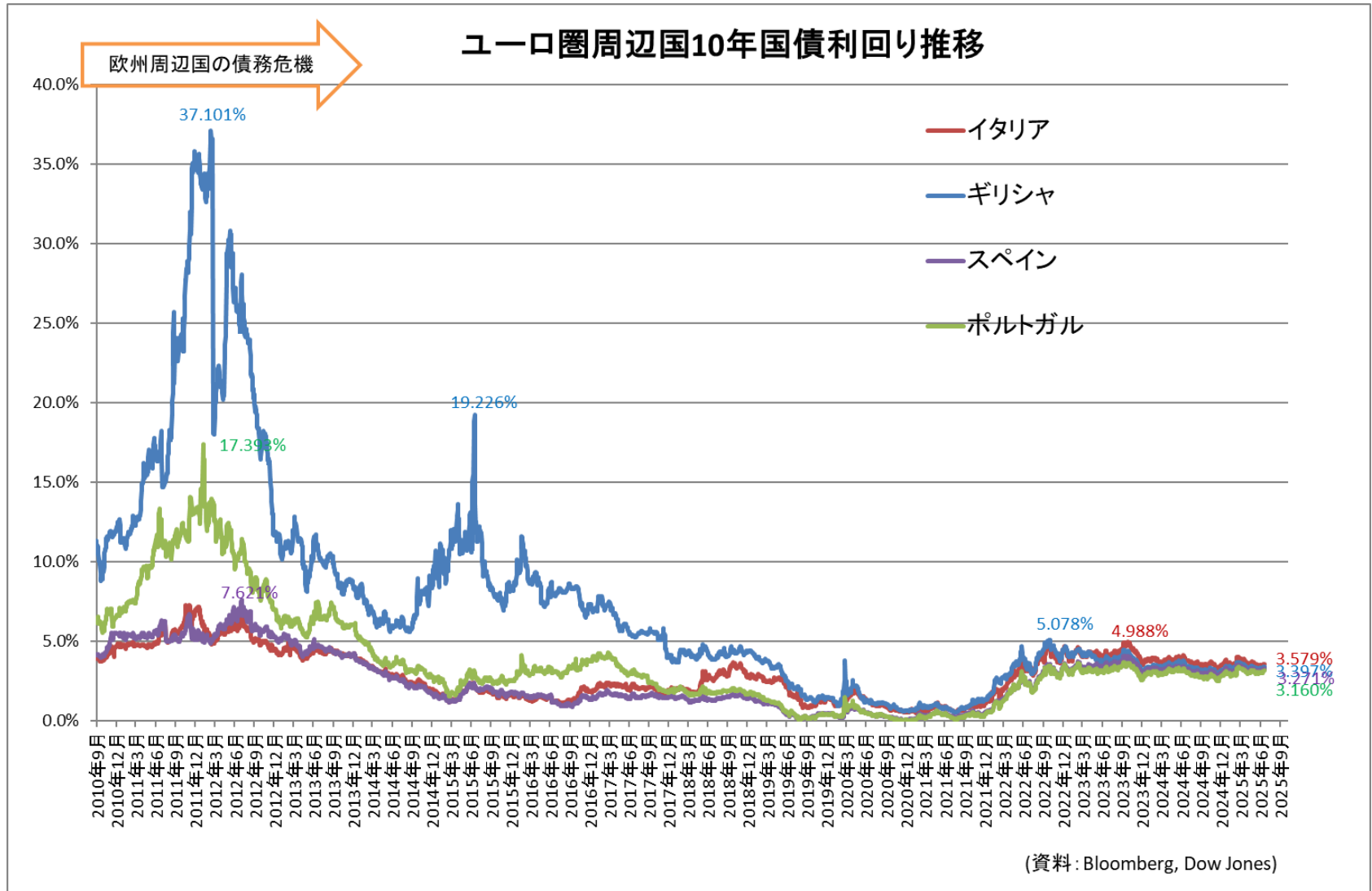
金利動向

---米経済指標の堅調持続で金利も低下から反発---



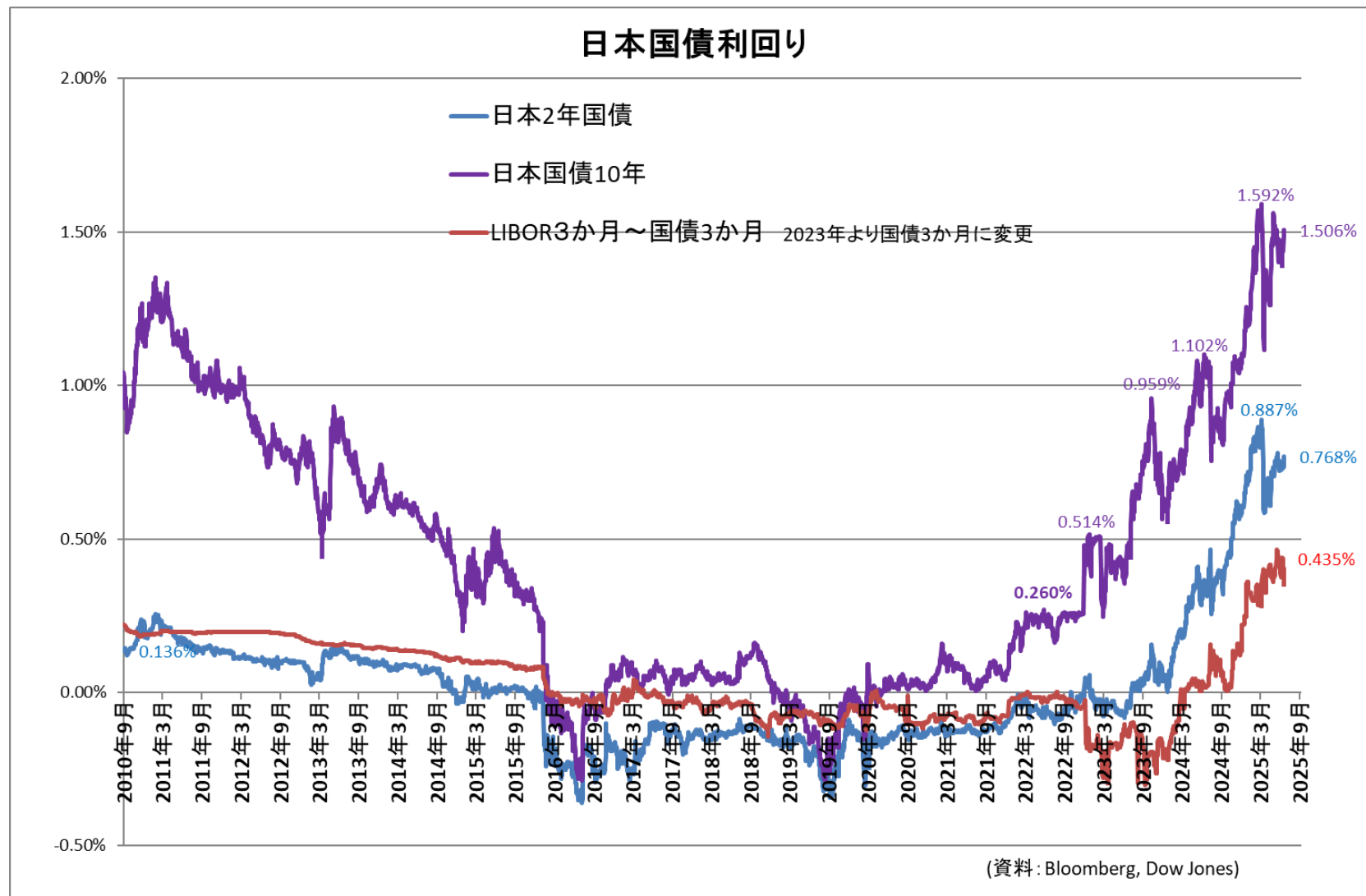
金利動向

---欧州周辺国金利は水準は小幅上がったものの横這い---



日本の長期金利も変動幅の変更で緩慢な上昇

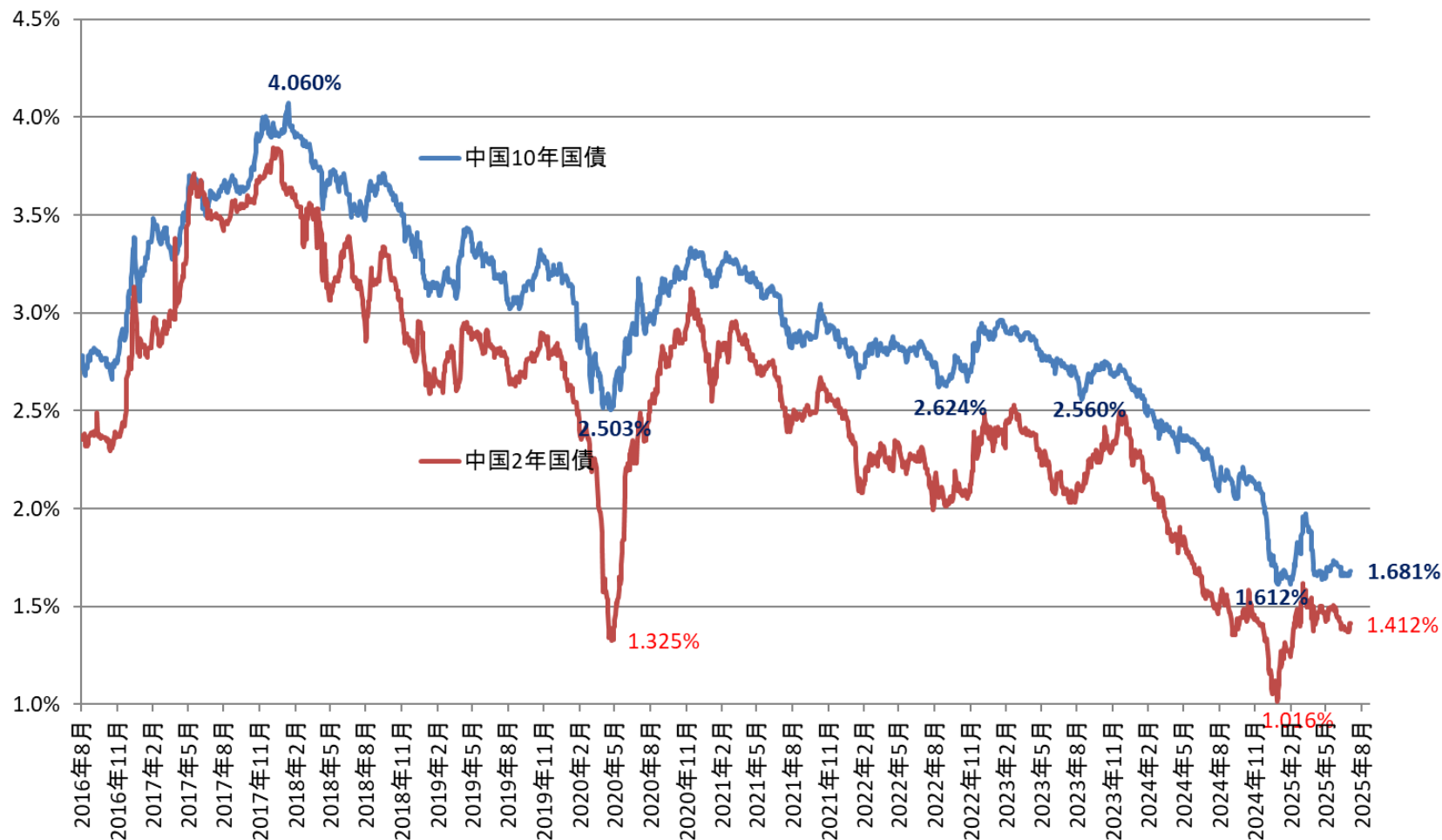
---金利正常化で市場金利は上昇バイアス---



中国国債は最低レベルから若干反発

---政府支出拡大による需要回復期待も減衰。10年国債は低位継続---

中国国債利回り最近の推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粹な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。